

中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ

当協会会員は、経営革新セミナー、創業塾などのセミナー、講演会、研究調査等の企画、実施まで責任を持って実行します。また、商店街などの中小の集積から個別企業まで、多くの業種の経営計画の支援や実務支援等を現場で行っています。企業内研修、団体研修、専門家の派遣等でも多くの実績があります。当協会会員には、中小企業診断士だけでなく、弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ISO9000,14000等審査員、情報システム、不動産鑑定士、など他の資格者も擁する人材の宝庫でもあります。専門家とのマッチング、費用のご相談など、無料窓口相談で行っていますので、業界に関わらず広く経営に関することなら、お気軽にご相談ください。

無料経営相談のご案内

当協会では、平日の午後1時より午後5時まで、予約制で、中小企業診断士による無料経営相談を実施しています。経営者を始め、営業担当者や創業を考えている方、各種団体との連携を求めている方など、多くの方に安心して利用いただいています。特定の分野での専門家をお探しの場合は、電話やメールであらかじめ、ご相談していただくことも可能です。

発行者：一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階
TEL: 077-511-1370 FAX: 077-511-1371
Email: jsmecca25@jade.dti.ne.jp
HP: <https://shiga-smeca.net>



アクセス

京阪電車石場駅より徒歩3分

JR大津駅からバス「びわ湖ホール」または「商工会議所前」下車徒歩2分

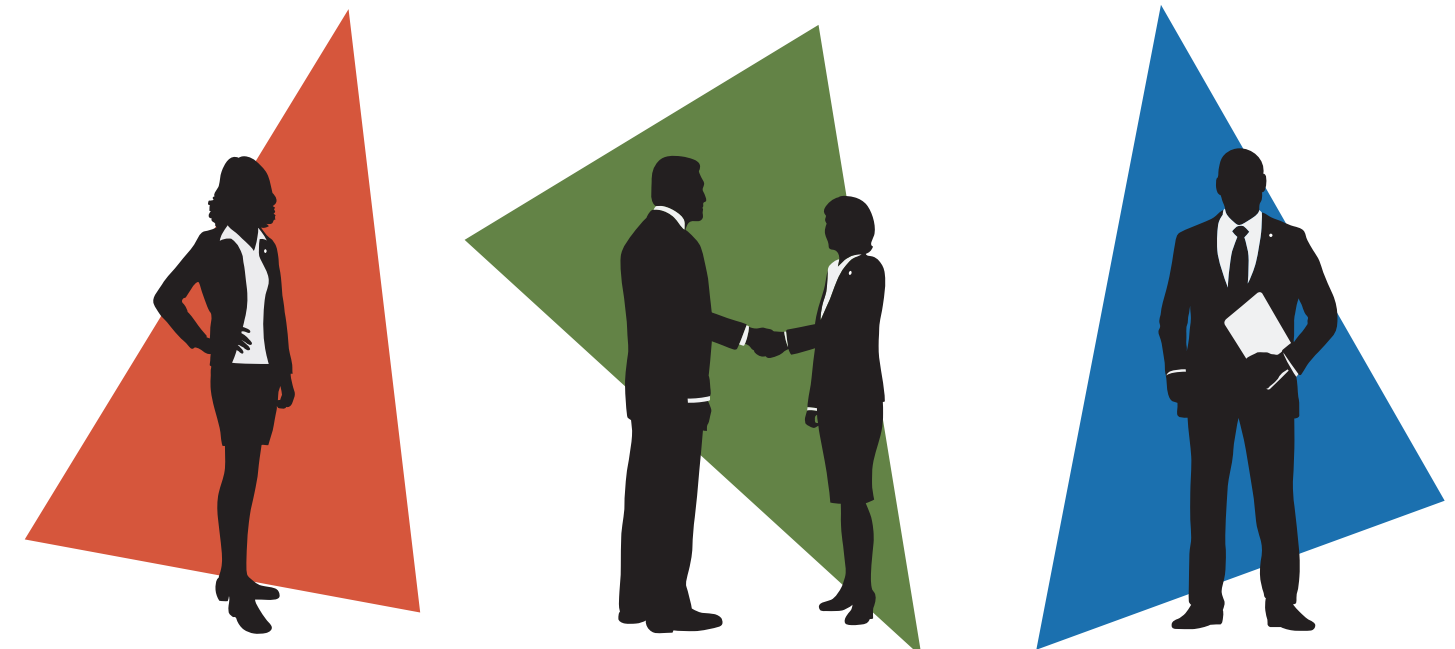


一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

診断しが

Shindan-Shiga

No.54
2025 WINTER



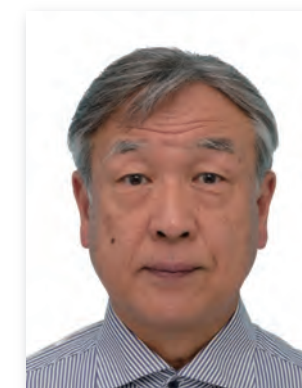
令和7年2月発行(年間2回発行)

目次

会長挨拶	1
特集記事	
近畿ブロック会議参加報告	2
中小企業診断士の日記念フォーラム2024	3
令和6年度理論政策更新研修	4
委員会報告	
厚生委員会	5
受託委員会	6
研究会報告	
事業承継研究会	7
事業再生研究会	8
飲食リテールビジネス研究会	9
地域経営研究会	10
組織内診断士ビジネス連携研究会	12
DX研究会	13
アグリビジネス研究会	14
活躍する診断士	15
新入会員紹介	17

会長挨拶

滋賀県中小企業診断士協会 会長 大石 孝太郎



令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年は、年始から、能登半島地震が起き、その後の豪雨など、予想もできない自然災害が発生しました。まだ、復興も十分進んでいない状況がありますが、被災された方々に、お見舞い申し上げますとともに、前を向いて挑戦されておられる方々の成功を祈らずにはおられません。
私たちが相談や経営改善を支援させていただく中小企業にとっては、あらゆる原材料や燃料関係費用の高騰に加え、毎年の最低賃金のアップ、採用難、人材の定着と育成など、事業を継続する上で必須のヒト・モノ・カネ・情報の経営資源すべての見直しを迫られています。例えば、給与体系をとっても、かつて理論で学んだ賃金理論では、対処できない状況となっています。マーケティングにおいても、SNSやAIなどの新たなツールとその改善スピードや活用ノウハウを知り、自社に適合させていくことが必要です。また、中小企業診断士に期待されている各種の中小企業施策、政策のエンドユーザーへの浸透と活用も私たちの役割であります。

令和6年は、補助金等の各金融機関との連携事業、滋賀県信用保証協会との経営支援等事業、各商工会議所、商工会、滋賀県中小企業団体中央会などの支援機関との専門家派遣や事業を受託させていただき、感謝申し上げます。私たちも、各研究会を中心に、情報化支援、DX支援、人や組織開発、地域支援など新たな事業を実施するなど多くの成果を出すことができました。
令和6年10月に、各都道府県に存在する中小企業診断士会を会員とする「一般社団法人日本中小企業診断士協会連合会」が発足しました。一般社団法人中小企業診断協会の設立から70年の節目となる令和6年11月5日に、帝国ホテルにて、中央省庁や各団体役員をご来賓としてお招きし、記念式典を開催しました。令和7年は、従来事業の強化とともに、滋賀県中小企業診断士協会として、新たな企画や事業に挑戦し、当協会のブランディングを強化していく所存ですので、引き続き、会員の皆様、並びに、ご関係者の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



特集記事

近畿ブロック会議参加報告

会長 大石 孝太郎

開催日時:2024年11月28日午後1時~5時

開催場所:ノホテル奈良

定例の近畿ブロック会議が、奈良県協会主催で開催されました。連合会本部から、松枝会長、佐野専務理事、事務局として、岩月様、福地様が出席され、近畿ブロックの7府県協会から、会長、副会長などが参加されました。

1. 連合会本部報告

1) 令和6年度連合会本部事業報告

連合会の重点事業として、中小企業診断士のブランディング戦略の推進事業として、特に、「一般社団法人中小企業診断士協会連合会(略称:日診連, JF-CMCA)」の広報と周知を図ることが強調されました。

2) 専門知識の共有化の推進

調査研究事業や、中小企業経営診断シンポジウム、kintoneの活用などが報告されました。

3) 会員相互の連携強化

会員相互の連携を強化する事業として、今年度、新たに「ブロック等情報交換会等の支援」が開始されました。従来の固定化されたブロック会議とは別に、自由な組みあわせで、3県協会以上が集まる会議の開催費用などが支援されます。ユニークな例として、被災地経験の協会が集まり情報交換する会議などが企画されています。

4) 専門家派遣事業

「事業継続力強化計画実効性向上支援事業」、支援内容が強化された「全国生活衛生関連事業者向け経営支援事業」の実績や課題などが検討されました。

5) 中小企業診断士実務補修(インターンシップ型)

令和4年4月1日に、中小企業診断士の登録及び試験に関する規則が改正され、インターンシップ型実務補修制度が創設されました。従来の実務補修の補完する制度であり、これを実施する都道府県協会が、連合会と業務委託契約を締結して実施する制度です。現在、福島県、茨城県など、9県協会で実施されています。

6) 会員管理システムの見直し作業

連合会本部の会員管理システムの見直し作業の項目や進捗について報告がありました。

7) 各府県協会の活動報告と情報交換

各府県協会の会員数、会費の状況、kintoneの活用状況など、広く情報交換を行いました。

全国では、連合会の会員でない「中小企業診断士」の会があり、混乱しているとの情報がありました。連合会は、全国に会員協会を持つ唯一の中小企業診断士の組織であることをしっかりPRしていくことが急務であると思いました。

特集記事

中小企業診断士の日記念フォーラム2024 『人が育ち活躍する経営シンポジウム』を開催

企画担当
専務理事 佐々木 武

戦後間もない1948年11月4日に「中小企業診断実施基本要領」が制定され、経営に関する専門家を活用する「中小企業診断制度」が発足しました。全国47都道府県協会では、企業経営者や関係機関に幅広く、中小企業診断士と中小企業診断制度の理解を深めることを目的に、本制度発足日の11月4日を「中小企業診断士の日」と名付け、全国的なPR活動を展開しています。滋賀県中小企業診断士協会では、地域中小企業にとって深刻な経営課題である「人材」にフォーカスし、昨年度の「東近江市様との人材採用マーケティングの取り組み(地域経営研究会)」、「滋賀県の人手不足と外国人活用(国際マーケティング研究会)」に続き、今年度は「人材の育成と活躍」に関する調査研究成果をもとに、『人が育ち活躍する経営シンポジウム』を開催しました。診断士のみならず企業経営者様や関係機関様の「人材」への関心が高く、多くの皆様にお越しいただき無事盛会のうちに終えることができました。



日時・場所:2024年11月4日(月)13:30-16:30、コロボしが21 大会議室
参加者:47名(協会会員28名、経営者・関係機関等19名)

【セッション1:基調講演】

「ここにパレットがあってよかった」

株式会社パレット 取締役会長・前田省三様、代表取締役社長・吉田香奈子様

調査研究の取材先でもあるパレット様に、「人の心をベースに経営をする」を原点とし、「パレットで働く人が幸せになる」ことを大切に考える当社の「働きやすさ」と「やりがい」を両立する「自己成長の見える化」への取り組みや経営バトンタッチのこれからのことについて、創業・前田会長と後継・吉田社長から人生と経営についてお話しいただきました。

【セッション2:調査研究報告】

「採用・育成・活躍」の好循環をつくるための「人」を基軸とした経営と組織づくり

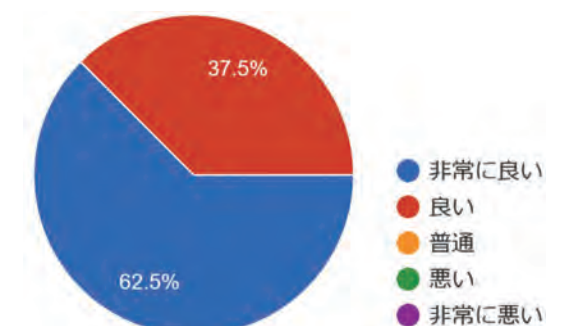
地域経営研究会 佐々木 武、伊東 豊二、三村 健人、上杉 嘉邦、栗田 一人

「選ぶ時代から選ばれる時代へ」、「定着率から活躍率へ」、「働きやすさから働きがいへ」、人材の採用から育成・活躍までの好循環サイクルを生み出すような、「人」を基軸とした経営のあり方について、滋賀で優れた人的資本経営を実践し成果を出している企業3社の経営者の方々への取材を通じ、その実際を調査研究し報告しました。

取材企業:(株)セブンズ様、(株)ナンガ様、(株)パレット様

【アンケート結果】

参加者の方々から大変良い評価をいただきました。
・非常に良い62.5%、良い37.5%、計100%(N=24)



令和6年度理論政策更新研修

西村 剛史

滋賀県中小企業診断士協会が主催する理論政策更新研修を本年度は 7月29日(土)の 1 回で実施し、108名に参加をいただきました。

時間 (時間数) / 科目名	講師 / 職・氏名
第 1 講: 12:40 ~ 13:40 新しい中小企業政策について	滋賀県商工観光労働部 中小企業支援課 課長 住羽地正浩 氏
第 2 講: 13:50 ~ 14:50 中小企業の伴走支援	(一社) 滋賀県中小企業診断士協会 地域経営研究会 栗田 一人 氏
第 3 講: 15:00 ~ 17:00 中小企業の伴走支援 (事例・演習)	株式会社ローズライフ 代表取締役 八田直也氏 (一社) 滋賀県中小企業診断士協会 企業組織活性化研究会 古澤 智氏

第1講では、『新しい中小企業政策』について、滋賀県商工観光労働部中小企業支援課の住羽地氏より滋賀県の中小企業支援施策や滋賀県中小企業支援課がどのような業務を行っているのかについて説明いただきました。

第2講は『中小企業の伴走支援』について、当協会地域経営研究会の栗田一人会員から事例を交えながら、主に伴走支援を行うのに当たっての心構えについてお話しいただきました。

第3講は当協会企業組織活性化研究会が取り組んでいる『伴走支援』を支援先である株式会社ローズライフの八田社長と古澤智会員に、これまでにない取り組み内容をそのままお話しいただいた他、4年ぶりにグループワークによる演習も行いました。

■アンケート結果(108名中56名回答)

研修内容集計結果は、「大変役に立つ」と「ある程度役に立つ」が、第1講73.2%、第2講87.5%、第3講85.7%と、総じて好評でした。

また自由回答には「今年は実践的な研修内容でよかった」「全ての科目がわかりやすい説明で大変よかった」などの声をいただきました。



活動報告

古澤 智

4月度より、急遽、委員会の担当を代行することになりました“ヒラ会員”の古澤が、令和6年度の厚生委員会の活動について、ご報告させていただきます。

令和6年度も9回のゴルフコンペの開催を実施することができました。他府県の診断士の方や協会のゴルフ仲間もお誘いいただき、延べ参加者は30人を数え、予定通り、開催できたことに対し、この場を借りてお礼を申し上げます。

また、会の運営としては、優勝者が偏ることなく7名となったことは、HDCPの設定やゴルフ場の選定もうまくいったと思いますし、なにより、一時的な小雨は降りましたが、概ね、好天で開催できたことが良かったです。

本年度のトピックとしては、“ゴルフスタジオ SUNNYDAY”様のご協力で、男女のプロが参加していただきました。プロのスイングを間近で見える機会はなかなかありませんし、ワンポイントアドバイス等、貴重な経験となったのではないのでしょうか。

皆様のご協力で厚生委員会の活動は滞りなく運営することができましたが、代理で引き継ぐ形となったため、前年までのゴルフコンペのみの活動を踏襲することになってしまい、

ゴルフをされない会員の方へのご提案ができずに終わってしまったこと、及び企業内診断士の方が参加しやすい土曜日、日曜日の開催が一度しかできなかったことが心残りです。

和気あいあいとした緩いゴルフコンペですので、女性の方、初心者の方やシニアの方のご参加をお待ちしております。

令和7年度は、岩崎さんが厚生委員会の運営者を引き受けてくださると聞いておりますので、グルメイベントや旅行等、ゴルフコンペ以外にも多くの協会員さんが参加できる企画を実施していただけることを願っております。



大甲賀CC油日コース

信楽CC杉山コース

近江CC

以上、令和6年度の活動報告とさせていただきます。

受託委員会の活動報告

受託委員会 委員長 田畑 一佳

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、受託委員会では、個別企業様や各種経済団体様及び金融機関様等からの支援依頼を受託し、協会会員に業務を依頼する役割を担っております。

お陰様で、経営革新等認定支援機関として、経営診断、事業計画策定、創業、事業承継、事業再生、BCP策定、景況調査、補助金申請支援、各種セミナー講師の派遣等々、多岐に渡りご支援させていただいております。

当協会に依頼いただいた案件に関しては、基本的に全会員向けに公募しております。全会員向けに情報を公開することで、協会がどのような活動をしているのかを会員同士で共有したり、また決定した担当者名から、その方の得意分野を認識できたりと、会員同士の情報共有を促進する場としても機能しております。

また、協会という組織で受託することで、チェック機能を果たし、成果物の品質保証にもつなげております。

外部環境が急激に変化するなか、今まで経験したことのない経営課題に直面することが多くなっていると感じています。そのような時、ワンストップで経営の課題を解決できる当協会にご相談いただければ、その分野を得意とする会員を派遣することができます。

何か経営でお困りのことがあれば、ぜひ当協会にご相談いただけましたら幸いです。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



事業承継研究会

活動目的	◎ビジョン 「次の世代へつなげる“よい”会社づくり」へのお役立ちをめざします。 ◎活動目的 研究会メンバーの承継支援事例の紹介と意見交換をメインに、各支援機関 中小機構近畿本部と連携しながら、新たに入会した会員への基礎的な承継 知識の学びを支援するとともに、承継に関連する会社法や民法、相続税・贈与 などの概要の把握、M&A後に必要となる「中小PMIガイドライン」への対応など 承継支援に必要な知識と対応力を身に付けることをめざしています。		
開催日	月1回(第2水曜日) 18:30~20:30	開催場所	原則、オンライン形式(ZOOM)で行う。
運営チーム	代表:松島明男、サブ:中川学、加瀬秀樹、岡本香		

1. 半年間の活動実績

- ①第93回:8月14日(水) 参加者13名
「個人事業主の事業承継と税制」 担当:中川学 会員
最近の税制改正による変更点も踏まえ、税理士でもある中川会員より解説いただきました。
- ②第94回:9月11日(水) 参加者13名 コラボしがにてリアル開催
「滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター事業内容紹介」担当:滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター
センター事業の紹介後、懇親会を開催し、センタースタッフと会員の間で交流を深めました。
- ③第95回:10月9日(水) 参加者19名
「シリーズ講座 事業承継支援のポイント第1回 親族内・従業員承継支援」
承継基礎知識のおさらいと事例研究ワークを実施。担当:中小機構アドバイザー小林俊文氏
- ④第96回:11月13日(水) 参加者17名
「取引先企業の事業継承時に”大手顧客側が取引継続に向けて考えること”」
従来の事例紹介とは異なり取引先企業の立場から、事業承継を進めようとしている会社の問
題点について、業務経験をもとに解説いただきました。 担当:西村 友宏 会員
- ⑤第97回:12月11日(水) 参加者19名
「シリーズ講座 事業承継支援のポイント第2回 知っておきたいM&A支援のポイント」
2024年8月に改訂された中小M&Aガイドラインの解説と事例研究ワークを実施しました。
担当:中小機構アドバイザー小林俊文氏
- ⑥第98回:1月8日(水) 参加者19名
「シリーズ講座 事業承継支援のポイント第3回 事業承継支援時における決算書の見方」
承継支援時の決算書の見方のコツを学びました。担当:中小機構アドバイザー鹿島清人氏

2. 今後の活動予定について

当研究会は間もなく開催100回目を迎えます。これからも会員の皆さまの事業承継支援の
学習・研鑽、情報提供の場として活動して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

研究会報告・計画

事業再生研究会

リーダー:山元 岳司 記:伊東 豊二

1. 研究会の目的と活動内容

研究会の目的は、経営資源が乏しいこと等で業績が思わしくなく苦勞されている中小零細企業の事業再生や経営改善を支援するスキルを身に付けることです。

活動内容は、当協会が滋賀県信用保証協会から受託している「経営安定化支援事業」、「創業支援強化事業」、「継続サポート事業」の実践および事例共有と意見交換等による相互研鑽です。

具体的には、本研究会参加の診断士が、企業の経営診断等を行います。その際に、実務経験の浅い診断士は副担当として入り、経営診断等の基礎となる実践経験を積みます。その後、主担当として実践現場でさらに経営診断等の能力を磨きます。

実践する経営診断等は以下のとおりです。

- ・ 経営診断(経営改善コース、事業承継コース、生産性向上コース、チャレンジコース、創業支援コース、フォローアップコース、創業フォローアップコース、IT入門コース)
- ・ 経営改善計画、生産性向上計画、生産性向上設備導入計画策定
- ・ モニタリング支援

事例共有と意見交換等は、守秘義務順守の下、経営診断等の事例を担当した診断士が毎月3件発表し、これを題材に活発に意見交換して相互研鑽しています。書物や個人活動からだけでは得られにくい、実践的な経営診断スキルや経営支援の知見・能力を磨き上げることができます。

日本経済の全体景況は新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあるものの、中小零細企業においては、原材料・エネルギー価格の高騰、人手不足、デジタル化の遅れなどが経営に大きな打撃を与えています。事業の立て直しを図るため、事業環境、財務、強み・弱みなどの視点から現状を分析し、様々なアクションプランや経営改善計画等を策定すること、そのような分析・計画を基に、金融機関をはじめ、取引先、従業員、支援機関などの関係者と連携を取っていくことが重要です。本研究会に参加することで、それらの具体的な手法を学ぶ絶好の機会を得られます。



2. 令和6年(7月～12月)の活動状況

毎月1回(第3水曜日夜)、「コラボしが21」3階会議室で研究会を行っています。新進気鋭の若手会員からベテラン会員まで毎回20名余の研究会メンバーが、各自の診断手法を披露し、活発な議論を行っています。

令和6年前半期の経営診断/経営改善計画策定発表者と発表事例	
7月	伊東豊二「電機製造業」、上杉嘉邦「金属加工業」、岡村善裕「飲食業」
8月	岡村善裕「漬物製造業」、岩崎弘之「エステティック業」、田畑一佳「建設業」
9月	加瀬秀樹「エステティックサービス業」、松島明男「製造業」、窪津正充「飲食業」
10月	森川茂樹「訪問介護」、岩崎弘之「フィットネススタジオ」、栗田一人「自動車販売・整備業」
11月	松山茂樹「建築工事業」、加瀬秀樹「金属加工業」、田中清行「建設業」
12月	田畑一佳「ドローン教室」、伊東豊二「足場組立」、山元岳司「食品物流業」

研究会報告・計画

飲食リテールビジネス研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本研究会は、飲食業をはじめ、小売業やサービス業など、繁盛している店舗運営を研究し、再現性のある店舗支援のあり方を探求する。 ● SNSを活用した前方支援(販売促進)やITを活用した後方支援(バックヤードの改善)を探求する。 ● 実践を通じて専門性を高めつつ、追体験を通じて支援できる幅を広げ、再現性を高める。 		
開催日	原則 第4木曜日 18:30～20:00	開催場所	コラボしが会議室でのリアル開催 または、Zoomによるオンライン開催
事務局	代表:望月 啓司 幹事長:加瀬 秀樹 幹事:岡本 香		

1. ご挨拶

「飲食リテールビジネス研究会」は、2024年4月に『飲食業口福繁盛研究会』と『しが観光経営研究会』を統合し、新たに発足した研究会となります。従来の各研究会の活動を尊重しつつ、アフターコロナを勝ち抜くために『実践スキル(伴奏支援)の向上』にこだわり、助言したことは責任をもって実行することを通じて研究員のスキルアップを図ります。

2. 主な研究テーマなど

<研究テーマ>

- (1)集客するための販売促進
- (2)ITを活用した店舗運営管理や業務効率化(省人化・省力化ツール)
- (3)補助金・助成金の調査研究
- (4)外部講師による幅広い知識の習得

3. 活動実績と今後の活動予定について

活動実績		
8月	【受託事業】ChatGPT活用セミナー資料ブラッシュアップ	萩会員
9月	9ヶ月住んでわかったフランスの食のリアル	槌田会員
10月	【外部講師】飲食店向け最新モバイルオーダーシステム活用事例	外部講師
11月	日本で唯一“うなしゃぶ”が食べられるお店『お、杉』での忘年会	—

4. 忘年会開催

日本で唯一“うなしゃぶ”が食べられるお店『お、杉』にて“うなしゃぶ”を堪能いたしました。



地域経営研究会

多様な地域課題に取り組む今年度の実践研究活動

“Creating Shared Value (地域の未来を共創する)”

滋賀県中小企業診断士協会の特筆すべき優れた事業は、高度で実践的な経営支援を目的に相互研鑽を行う「研究会活動」です。

私たち「地域経営研究会」も第87回を迎え、自治体や地域経営支援機関のパートナーとして、マクロな視点で地域の経済特性や産業構造を分析し、「中小企業の労働生産性の向上」を目指し、実践的な課題解決支援に取り組んでいます。今年度の研究成果について報告します(4月～12月・9回、述べ参加者数140名)。

地域経営研究会 佐々木 武



【地域経済動向分析】

9月(第83回):野洲市の地域経済動向調査分析

RESAS(地域経済分析S)を活用した経済動向分析:栗田一人会員

市内事業者データによる経済動向分析:北村義浩会員

野洲市商工会様から継続受託している地域経済動向調査分析を報告しました。今年度は2028年開校の滋賀県立高等専門学校による経済波及効果について産業連関表を用いて分析を行いました。環境省の地域経済分析ツールの紹介とLM3による公共投資の経済効果の最大化について意見交換を行いました。

○野洲市商工会HPに掲載

https://yasu-cci.or.jp/topics/archives/1025



【公共施設の経営診断】

6月(第80回):「アウトドア宿泊施設」経営診断:伊東豊二会員

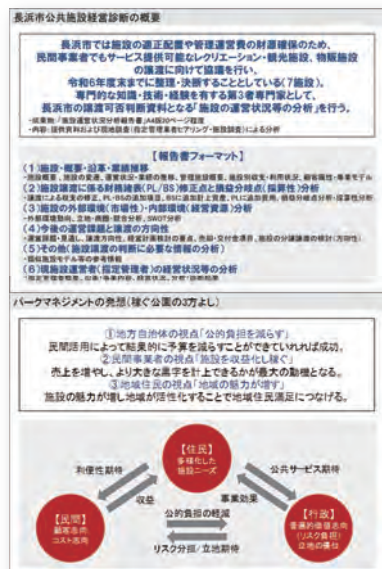
8月(第82回):「商業施設(道の駅)」経営診断:上杉嘉邦会員

11月(第85回):「商業施設(道の駅)」経営診断:若岡聡子会員

「長浜市公共施設等総合管理計画」の民間譲渡対象となる、総合アウトドアレジャー施設、リゾート宿泊施設、入浴施設、商業施設の7施設について、長浜市様からの依頼を受けて地域経営研究会にて経営診断を行いました。私たち中小企業診断士の経営診断結果を基に、長浜市で協議された結果、民間譲渡3施設、PFI(コンセッション方式)1施設、公共施設継続3施設となりました。公共施設の現状や地域資源活性のあり方について知見を深めました。

○国土交通省PPP/PFIサウンディング案件登録(ウディパル余呉)

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/sosei_kanminrenkei_rd1_000155.html



【地域活性に関わる現場視察】

5月(第79回):「大津百町の地域活性化の取り組み」:(企画)栗山誠司会員「自遊人×谷口工務店」が手がける、近年注目の分散型宿泊施設「商店街ホテル講」は、「昔から息づく文化や風土、人々の営みを観光資源化して地域を活性化するモデルを作る」をコンセプトに取り組んでいます。実際に現地に足を運び、ホテルと大津百町を体感し、地域活性化に必要な取り組みや視点を学ぶ機会となりました。



【「人材」に関わる実践研究】

4月(第78回):マーケティング視点からの東近江市地域人材の活性化計画策定～検証

若岡聡子会員、伊東豊二会員、北村義浩会員、栗田一人会員、佐々木武会員「官民一体の取り組み」が、地域企業の課題を解決できる実効性の高い政策が可能との観点から、東近江市様と議論を重ね、最優先課題「人材不足」を解決するために、顧客(求職者)起点からの「人材採用マーケティング」に取り組み、調査研究を報告書としてまとめ、その成果や「人材と経営」における診断士の役割について議論しました。



10月(第84回):「人」を基軸とした経営と組織づくりの調査研究

伊東豊二会員、上杉嘉邦会員、栗田一人会員、三村健人会員、佐々木武会員(オブザーバ:栗山誠司会員)

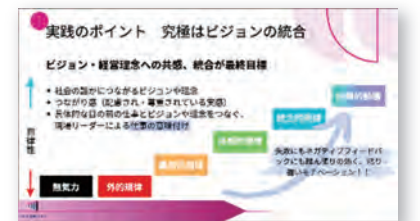
人手不足が深刻な中小企業にとって、人材の採用・育成・活躍は、重要な経営課題・地域課題です。地域経営研究会では、企業現場の実際をもとに手触り感のある実践研究とするために、(株)ナンガ、(株)セブンズ、(株)パレットの優れた企業3社を取材し、「人を基軸とした経営と組織づくりの調査研究」を行ないました。



12月(第86回):自己決定理論で実践する、人材育成の新戦略

槌田昌子会員

人的資本の力を引き出す際に不可欠なのがモチベーションマネジメントについて、モチベーション理論の中で最もパワフルな「自己決定理論」について、その内容と実践のためのポイントを余すことなく解説し、経営と人材について議論をしました。

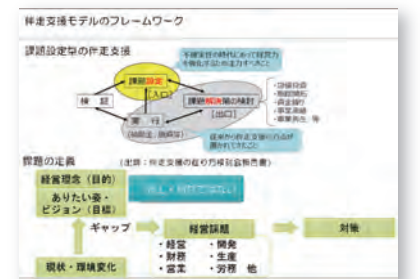


【中小企業の自走と成長を実現する伴走支援】

7月(第81回):企業の自走と成長を実現する伴走支援の理論と事例

栗田一人会員

本年度理論政策更新研修の「伴走支援」をテーマに、地域経営研究会と企業組織活性化研究会合同で実施しました。地域経営研究会で担当する「理論・事例」に関して、研究会メンバーのこれまでの企業支援における経験や知見などをふまえて意見交換し、ブラッシュアップしました。



組織内診断士ビジネス連携研究会(企業内診断士交流会)

活動目的	組織内(企業内)で中小企業診断士として活動する方々の交流を図りつつ、「組織内外でどのように診断士のスキルを活かすか」をテーマに取り組んでいます。「中小企業診断士の資格を取得したものの、どう活用すればいいかわからない」という声をよく聞きます。そこで私たちは、研究会のメンバー同士で知恵を出し合い、ご自身の職場や地域に貢献する方法を模索しています。例えば、実務スキルを高める勉強会や、具体的な課題解決を目的とした診断活動などを通じて、組織内診断士が活躍できる場所を作っていきたいと考えています。		
開催日	偶数月第2月曜日 18:30~20:30	開催場所	コラボしが21
運営チーム	戸取正明、竹内芳裕、黒川勝利		

◆プロボノ活動(※)の支援に向けた実証実験事業

この度、地域貢献とメンバーの診断スキル向上の一環として日本中小企業診断士協会連合会が実施する掲題の事業に応募して「プロボノ活動」に取り組みました。活動に際しては、大石会長、田畑副会長にご助言とご支援をいただきながら、滋賀県中小企業団体中央会様、滋賀県信用組合様から支援対象企業をご紹介いただきました。支援内容は次の通りです。

支援期間	令和6年7月~12月
対象企業及び支援目的及び支援内容	部品製造加工を営む対象企業が新規事業として工業社(製造業者)と農業者、商業者を対象にしたコミュニティスペース事業として申請した事業再構築補助金事業が計画通りに進んでいない為、これを円滑に進めるべく伴走支援を行いました。具体的には、代表取締役との対話を通じて、次の通り、各種調整および提言を行いました。 1. アイデアの整理:代表取締役のビジョンを現実的なリソースやスケジュールに合わせて具現化させること 2. 計画の最適化:実現可能な範囲に計画を絞り、資源や資金の再評価を行って、本業に影響のでない内容に適正化修正 3. 段階的アプローチ:短期的な実行可能性を考慮して、段階的に達成できるアプローチ(進め方)へと修正
支援活動の進め方	代表との2回のヒアリングと研究会での3回の提言内容に関する協議(延べ10名が関与)を経て提言を取り纏めました。そのうえで、上記2団体様同席のもと、対象企業への最終報告会を実施しました。

以上の支援を経て、今後の事業展開について思い悩んでいた代表にとって、これからすべきことが明確化されたことに加え、上記2団体様と方向性を共有することができました。また、活動に参加した組織内診断士の実務ポイント獲得にも寄与しました。

※プロボノ活動:企業内診断士が社内や診断士活動で培った知識や経験等を活かして、コンサルティング活動を通じた社会貢献を行うボランティア活動のこと

DX研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本研究会は、中小企業診断士のDX支援スキルを向上することで支援先企業の利益向上に貢献することを目的に活動しています。 ● DX支援に役立つスキル・ノウハウを会員同士で惜しみなく共有することで、全体のスキルの底上げを図ります。 ● 研究会を通じて知識の共有し協業体制を構築することで、研究会として事業者のDX支援を受託できる体制を作り上げ、実際に事業者様のDX化に貢献する活動も行っています。 ● 事業者様のDX支援により得られた成果は、再度研究会内で展開することで、中小企業診断士の一段のスキル向上を図るという好循環を生み出すべく、精力的に活動しております。 		
開催日	原則 第2金曜日 18:30~20:00	開催場所	原則 コラボしが会議室とZoomによるオンラインとのハイブリッド開催
事務局	代表:望月啓司	会計:岡本香	渉外:生田光輝 事務局:浅井志郎

1. ご挨拶

「DX研究会」は2023年1月に2022年度入会の有志にて立ち上げた新しい研究会です。3年目を迎えた本年は、昨年に引き続きDX伴奏事業に力を入れ、社会貢献に寄与する活動に注力して参ります。事業者様のDX支援により得られた成果を、研究会内で展開することで、中小企業診断士の一段のスキル向上を図る好循環を生み出すべく、精力的に活動しております。引き続き会員皆さまのお役に立てるよう活動してまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

2. 主な活動内容

<会員によるITツールの紹介>

会員が得意としているITツールを紹介頂いております。より身近にITツールを学べるだけでなく、講演を行う会員にとっては得意なスキルをアピールする場にもなっております。

<DX支援成果の展開>

DX支援の受託による成果を報告頂く場としても研究会を活用しております。成果報告によりDXに関する一段のスキル向上を図ることに加え、実際の現場におけるDX化を体験頂くことで、現場で通用するスキルの向上を図ります。

3. 活動実績と今後の活動予定について

2024年6月、行政機関より、5社のDX伴奏事業を受託。税理士法人様より、クラウド化支援業務を受託するなど、活動2年目にしして一定の成果に結びつけることができました。これも会員皆様の叡智を結集しての成果であることに感謝いたします。

毎月の勉強会活動を通じて、受託企業様に喜んでいただけるよう、実りある支援を行ってまいります。今年度受託した「DX伴奏事業」をしっかりと成果に結びつけ、次年度の支援活動に弾みをつけるよう、尽力してまいります。

研究会報告・計画

アグリビジネス研究会

リーダー 西谷 弘士

「滋賀のアグリビジネスについて」

農業経営と農業政策の課題

アグリビジネスに含まれる領域は、農業機械・農薬・肥料などの農業資材、品種改良・種子、株式会社の農業参入、農産物の生産・流通・加工・輸出など多岐に渡りますが、今回は滋賀県農畜産物の生産・流通の現状の取り組みについて紹介します。

■滋賀県の稲作の現状とブランド米の挑戦

滋賀県農業の特徴は、耕地面積50,000haのうち水田が46,500haを占め水田化率が93%(全国2位)と稲作中心の農業です。一方、野菜や果実の生産額は全国でも最下位に近い位置にあります。

滋賀県産米(近江米)については、米の主産地が新品種の開発や生産・流通に力を入れている現状で優位性をとることは難しいですが、その中でもブランド化を図る(米の品質や食味を高める)、差別化を図る(用途に合った専用品種を栽培する)などに取り組んでいる生産者もあります。海外展開では、精米やパックごはんの海外販売や日本酒の醸造用原料として輸出される米もあります。

■環境先進県・滋賀から発信するオーガニック米『きらみずき』の挑戦

また、滋賀県農業技術振興センターで開発された新品種の「きらみずき」の栽培・流通が、令和6年度から本格的に始まりました。「きらみずき」は、「オーガニック栽培」(有機JAS認証を受けたもの)か、「化学肥料(窒素成分)や殺虫・殺菌剤(化学合成農薬)を使用しない栽培」の栽培方法に限定するというオーガニックを強調した品種で、環境先進県である滋賀に適した品種です。今後の栽培拡大が期待されています。

■観光農園と新品種『みおしづく』の挑戦

生産量は少ないですが、果実栽培では少し前まではトマト栽培への新規参入が多かったですが、近年はイチゴ栽培への新規参入が増えています。トマトでは高糖度のトマト栽培、観光農園、加工品ではトマトのピューレ、ドライトマトなどに取組まれています。イチゴ栽培が急増している中で、その多くが観光農園に参入されており、現在いかにして顧客を確保するか、差別化するかが課題となっています。高品質、美味しいいちごを作るのが前提ですが、品種のラインアップやサービス(対象顧客の絞り込み、滞在時間延長等)、施設整備(いこい場の設置、トイレの整備等)や、顧客の獲得方等に知恵を絞っています。令和5年度から滋賀県で開発したイチゴの新品種「みおしづく」(適度な酸味にさわやかな甘味、フローラルな香りや、大粒で明るい赤色特徴)がデビューしました。今後、滋賀を代表する品種に育つことを期待されています。

■滋賀県農業の未来:果樹団地から後継者問題まで

ぶどう生産も増えおり、観光農園や果樹団地の造成、ワイナリーの建設も始まっています。この他に色々な野菜・果実・果樹に取り組んでいる生産者もあります。

畜産では、飼料の高騰と枝肉価格の低迷で経営継続に危機感も出て来ています。

さらに、農業でも中小企業と同じく後継者不足の問題があります。このままでは農業生産、食糧安保、国土保全にも大きな影響が出るのが心配されています。

■さいごに

中小企業診断士として、経営・流通・商品開発・加工・販売・事業継承等の分野で農家を支援できる場面も多くありますので、機会があればチャレンジされてはどうでしょうか。



活躍する診断士の横顔

<プロフィール>

日野町出身。大津市在住。JA滋賀中央会にて県内JAに対する経営指導・監査・教育等の部署を経た後、2013年から農業関係のJAへの支援業務に従事。2024年7月から教育担当。

(平成11年4月 中小企業診断士登録)

<専門分野・強み>

農業経営コンサルティング/ケースメソッド教育

<主な研修メニュー>

農業・農政をめぐる情勢・農業施策・農業経営・経営戦略・マーケティング・組織マネジメント・イノベーション・財務管理・フレームワーク・ファシリテーション・行動経済学の実務への活用・スピーチ等の留意点・交渉の基礎・カスタマーハラスメント対策・人事考課・生成AI



中小企業診断士
雲林院 智史

<協会入会を振り返って>

2023年10月に滋賀県中小企業診断士協会に入会しました。多くの先生・先輩方との出会いに恵まれ、多くの幅広い知見や情報を得るとともに、研究会活動等を通じてネットワークを広げることができました。お陰様で大変充実した毎日をご過ごしています。

<今後の展望>

私のビジョンは、「コンサルティング」の視点では「地域農業を最も魅力ある産業に」、「教育」の視点では「知っている知識から使える知識に」です。

これまでの長年に亘るコンサルティングの知識・経験を活かすとともに、これまでの知識をアップデートし続けることにより、農業が最も魅力ある産業の1つになるようコンサルティングを通して支援していくことです。また、教育面では、あくまでも講師は「脇役」という立ち位置のもとで、「徹底した分かりやすさ」に加え、受講生の方々が「自ら考え」「知識や技能を実務で十分に活用できる」教育のあるべき姿を追求し続けることです。

<最後に>

現在、第4次産業革命の主役ともいわれている「生成AI」の動向に大変興味を持っており、「生成AIを使わない日はない」くらい様々な業務で「生成AI」を活用しています。

「生成AI」は、業務の生産性を飛躍的に向上させる等の「正」の面が強調されていますが、その一方で「生成AIを使いこなせている組織・人」と「そうでない組織・人」との間で大きな格差が顕在化することが想定されます。

こうした状況の中で、中小企業の経営者をはじめとした地域の皆様の「気持ち」に寄り添い、企業経営の目線からの「生成AI」の活用を推進するため対策を支援する等、できるだけ格差がない共生社会を目指していく一助になりたいと考えています。

▶ 活躍する診断士の横顔

井の中の蛙、大海を知る喜び

Beyond You株式会社 取締役 CMO 兼 CFO
利益UPデータ活用コンサルタント 浅井 志郎

得意分野: データ分析(特にマーケティング分野)
趣味: 海外旅行・車



知的好奇心は強い方でしたが、30歳過ぎまで純粋な技術者として「自然科学」の領域しか知りませんでした。そんな私がコンサルタントとして「社会科学」を相手するとは、思いもよりませんでした。

診断士を目指したきっかけは、当時勤めていた会社の役員からの紹介でした。配属された技術企画部の業務に役立つ知識を体系的に学べると感じ勉強を開始しましたが、知れば知るほど自身が「井の中の蛙」であることを実感し、徐々に社会科学の分野に傾倒していくことになりました。社会科学に関する知識は、当時の業務に役立つもの以上に、人生設計にいろいろなアイデアをもたらし、自らの人生の幅を広げられるものでした。そして、多くのすばらしい方々との出会いを運んできてくれるものでした。この出会いにより、さらに自身の人生は好転していくことになりました。

その中でも、診断士協会の先生方からは、多くの学びと自身の人生に対する示唆を与えて頂いております。それと同時に、診断士協会は「会社」でも「友人」でもない「第三のコミュニティ」として、社会とつながるプラットフォームにもなっております。本当に感謝でしかありません。少しでも貢献させて頂くべく、現在はDX研究会の幹事および事業再生研究会・ものづくり研究会の運営にも参画させて頂いております。至らない点もあるかと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

診断士という存在に出会ってから「1.5年の育児休業」「妻との法人設立」「15年間勤めた会社を退職」など、自身の人生に大きな影響を与えるイベントが訪れました。現在は妻の事業を支えつつ、3児の父として家事育児も行いながら、自身のクライアント様の伴走支援などもさせて頂くなど、非常に充実した日々を過ごしております。まさに「大海を知る喜び」を感じております。

自身の事業としては、技術者として培ったデータ分析のスキルを活かし、特にマーケティング分野での支援を中心に事業を展開しております。また企業活動の中で「どのようにデータを蓄積するか?」ということに関してもニーズがあり、システム導入や構築含めて提案を行っております。一方で、世の中の技術進歩のスピードは速く、それに追従すると同時に自身の分析スキルやシステム構築に関する知識の更なる向上も必要と感じております。そんな想いを込めて、弊社は以下の企業理念と行動指針を掲げております。さらなる広い海に向かって邁進致しますので、引き続き良きお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

■ 企業理念

私たちは お客様の無限の可能性を信じ お客様の夢の実現に貢献します

■ 行動指針

自身の可能性も信じ、未来へ勇気をもって踏み出そう
先入観をなくし、多様性を尊重しよう
向上心と謙虚さを持ち、学び成長し続けよう

▶ 新入会員紹介



吉田 英治
よしだ えいじ

(公財)日本生産性本部認定経営コンサルタント
住所:京都市左京区 連絡先:eyoshida3@gmail.com

2024年秋に日本生産性本部の登録養成課程を修了し、中小企業診断士として登録しました。前職では、システムインテグレーター(顧客の業務分析、システムの企画・設計・開発から運用・保守までを請け負う会社)にて30年以上にわたり営業や新規事業開発を担当し、幅広いプロジェクトに携わってきました。これからは、中小企業診断士として、養成機関で学んだ経営全般の知識とこれまでの実務経験を活かし、経営戦略に基づいたIT化やDX推進を中心に、中小企業の成長をご支援してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



星井 光博
ほしい みつひろ

住所:京都府長岡京市
連絡先:mobile-mail:mhoshii99@gmail.com PC-mail:soranagi0306@gaia.eonet.ne.jp
事業内容:専門は製造業ですが、業種問わず対応可能。

～顧客それぞれの状況に応じた課題を共に考え、共有し、その解決に向けた伴走支援が可能です～
メーカー勤務から中小企業支援機構に出向して「中小企業診断士」という国家資格を初めて知り、60歳からのチャレンジとなりました。現在は滋賀県の顧客をメインに、若干の地元京都の顧客を加え、伴走支援を軸に活動しています。今後も中小企業を取り巻く環境は目まぐるしく変化していきます。そんな困難な中でも「希望の光」を差し伸べられる様、今までの知見と経験をアップデートさせながら、寄り添う支援をめざしたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



中堀 弘規
なかほり ひろき

住所:滋賀県大津市 連絡先: keiei.terrace@gmail.com
得意分野: 資金調達(融資・補助金)、創業支援、新商品開発、展示会出展支援、BCP策定

大学卒業後、地方銀行にて3年間勤務。その後、商工会へ転職しこれまで7年間、地元である滋賀県の小規模事業者を中心とした経営支援に従事してきました。また、資金循環を生み出す特産品開発や、行政と連携したイベント企画運営など地域経済活性化の最前線も経験して参りました。『商は笑にして勝なり』を支援におけるポリシーとして、経営者やお客様が笑顔になる商品・サービスの実現に対して、しっかりと伴走できる中小企業診断士になります。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



佐野 一廣
さの かずひろ

住所:大阪府大阪市
連絡先: 090-1449-1550/skcon.office@gmail.com
専門分野: 経営パワー強化、SNS活用支援、補助金・融資支援

2013年に中小企業診断士登録。IT企業および大学法人の勤務経験がある。IT企業では、流通業・製造業を中心に、基幹システムや通信販売システム導入により、多くの経営改革に資する支援を実施。大学法人では、大学基盤システム策定経験やITを活用した業務プロセス改革経験を積む。2023年に開業。「優れたコンサルサービスの提供を通して、豊かな地域社会の実現に貢献」を理念とし、IT活用による経営課題に加え地域課題の解決を念頭に活動している。また、「正しい商売」「常に新分野の開拓」を社是に基づいて、重要な人材教育として、経済番組を題材にして「マーケティング力」「新分野開拓力」など経営パワー教育支援を展開している。最後に、今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を下さいますようお願いいたします。